

I、本園の教育目標

「いつもにこにこ元気な子ども」

- 1、健康でたくましい子どもに
- 2、だれとでも仲よくできる子どもに
- 3、しっかりと約束の守れる子どもに
- 4、あいさつのできる子どもに
- 5、自分で考えて行動のとれる子どもに

★93名中 87名提出
◎回収率 93%

II、自己評価の状況

◎目標を上回る ○目標に達する △目標に届かない

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼稚園の運営について	◎	教職員同士のコミュニケーションが取れていて、協力して行事や保護者対応に取り組んでいる。創立50周年を機に老朽化に伴い、子ども達と共に園庭のリニューアルを計画している。教員の人数は充実している反面、新卒の採用をし若手教員の育成も必要である。
2	保育の在り方、幼児への対応	◎	教職員全員が全園児を把握している。一人ひとりの子どもに合わせた適切な対応や援助をする為に、教師間での意見交換の場を定期的にもつことができた。支援が必要な子どもに対して、専門的な知識を深めるため、大学の先生にご指導をいただいたり、引き続き研修会に参加したりして学ぶ機会をつくっていく。
3	保育者としての資質・良識・適性	◎	保育者として、一人ひとりの子どもと保護者とのかわりを大切に信頼関係も築くことができた。園内研修や研修会に参加し、各自のスキルアップにつなげることができた。
4	保護者への対応・守秘義務	◎	クラスだよりクラスメールを配信し、保護者にクラスの様子や成長を伝えることができた。 保護者からの相談事に対しては園長・教頭に相談し、適切、迅速に対応することができた。
5	地域の自然や社会とのかかわり	◎	近隣の老人施設に訪問し、地域の方との交流をもつことができた。今後、公園遊びを多く計画し地域の自然に触れる機会や体験を多く取り入れていく。
6	保育者の専門性に関する研究・研究への意欲・態度	◎	姉妹園との勉強会実施、その他東京都や八私幼の研修会に参加し、日頃の保育に生かすことができた。また「探求心」をテーマに園内で話し合いを重ね、園庭の環境の見直しを勧めるきっかけとなった。
7	地域における子育て支援	◎	八王子市子育て支援のゆめキッズにて出前保育を行い、子育ての相談にのったり、親子での遊びの提供や、季節の制作等を行ったりしてきた。また、幼稚園に遊びに来てもらえるよう声掛けや手作りパンフレットを配布したことで、園に足を運んで下さる方が前年度より増えた。教師の姿より保護者の安心につなげることができた。

IV、保護者評価の状況

結果	項 目	内 容
◎	子どもの成長について	「いつも先生が温かく見守っていただき、先生のことを信頼していることが伝わってきている。」「幼稚園が大好きで、行事を通して成長を感じることができた。」などとコメントをいただいた。しかし、「相手の話を注意して聞くことができる」項目の評価が平均点数 3.2 と低かった。保育の中で、意識をもって指導をしていかなくてはいけないと反省した。
◎	園の運営について	「親への負担に配慮してくださっている」「いつもきめ細やかな保育・教育に感謝している。」「参観などで日々の様子を知れてよかった」「運営面で新しい取り組みがあり、幼稚園を良くしようというのが伝わって来た」などの意見を頂け、引き続き状況に合わせて対応をしていきたい。
◎	家庭との連携について	「園の様子をこまめに教えて下さり安心している」「安心して相談できる雰囲気がある」とコメントをいただき、引き続き幼稚園と家庭が連携をとっていくことで子どもの成長につながると思われる

V、総合的な評価結果

評価	理 由
A	・子どもの頑張った姿、できるようになった姿を保護者の方に伝えることを意識し、様々な方法で伝えてきたことや、日々の子どもたちの姿から、信頼関係を築くことができ、安心して子どもを預けていただくことができた。どの子どもにも愛情をもって、個々に合わせた指導、援助を行い、「いつもにこにこ元気な子ども」の教育目標が達成でき、保護者から聖徳教育でよかったと評価された。

A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・成果がなかった

VI、今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	・多様化したニーズへの対応	・各家庭の事情に合わせた、幼稚園で出来る範囲での対応を考え保護者に寄り添い援助・配慮・支援を行っていく
2	・得られた成果を発信する力の強化	・今回の結果からも分かるよう、いい評価をいただいている。この結果を強みとし、聖徳の保育を様々な形で外部に発信し、園児募集へとつなげていく

VII、学校関係者評価委員の評価・・・・・・評価委員 5 名より、全項目において「A」の評価をいただいた。

コメント

- ・ 創立 50 周年記念式典に参加し、保護者の協力もありとても良い式典であった。保護者とのコミュニケーションが取れていると感じた。
- ・ 聖徳フラッシュが Web になったことはとてもいいことだと思う。
- ・ 毎日園児の為に保育し、園長先生のもと先生方のコミュニケーションの良さが園全体に広がり、園児のその家族も安心して預けられるのだと思う。時代に沿った保育や教育も多少なりとも出てくると思うが、研修や研究を続けられていて素晴らしいと感じる。「いつもにこにこ」と頑張ってほしい。
- ・ 聖徳大学八王子幼稚園は温かい幼稚園であると感じている。園児たちの安心と健やかな成長のカギは保育メソッドを超えたぬくもりにこそある。「和」になかなかフィットすることのできない不協和音を大切に、心を込めて保育するところが幼稚園の最大の武器であり宝である。9 割を超えるアンケートの回収率の高さこそ証しである。
- ・ 年長組の「英語で遊ぼう」・インスタグラムの公式ページの配信・要支援の園児のケアはとてもいい。但し、HP 自体の形式が古すぎて、一部更新できていないのでアップデートが必要。

以上、貴重なご意見を頂いた。